



校訓

「夢を持って歩み続ける」

# 陽光(さん)

令和7年7月18日 第8号 文責 梶原 圭一



## 「思いやり」のある夏休みに！

本日をもって、71日間の前期前半が終了しました。明日からは、子どもたちが楽しみにしてる夏休みが始まります。前期前半を振り返ると、どの学年の子どもたちも、学校生活の中で「光かがやく」姿を見せてくれました。特に6年生は、学校の最高学年としての自覚が感じられる行動を見せてくれるようになってきました。運動会で経験したリーダーシップが自信となり、学校をよりよくするための活動を考える様子が見られていることを、本当に頼もしく感じています。4月に入学した1年生も、学校の生活リズムにずいぶん慣れてきたようです。「校長先生、おはようございます」と、校内で一番元気な声であいさつをしてくれます。授業の様子を見て回っていると、学年が一つ上がって、学習内容も難しくなっていますが、集中して学習に向き合っている姿は、とても輝いて見えます。

39日間の休みを迎えるにあたり、子どもたちには『**思いやりのある夏休みにしよう！**』と話をしました。思いやりを向ける対象は、自分であり、家族や身の回りの人であり、地域であると伝えました。有意義な夏休みにするためには、自分自身が元気で健康であることが大切です。そのためには、様々な誘惑に負けず、**「自分への思いやり」**が必要です。「自分への思いやり」とは、生活リズムを崩さず、規則正しい生活をすることです。また、自分の身を守るために、きまりを守って過ごしてほしいと思います。併せて、この時期に歯の治療などを済ませておくことも、「自分への思いやり」につながるものと考えています。**「身の回りの人への思いやり」**とは、友だちや家族への感謝の気持ちをもって行動することです。特に、家族の一員として、日頃なかなかできない家の仕事に積極的に関わる夏休みにしてほしいと思います。また、友だちと遊ぶ時間も多くなるとは思いますが、友だちや友だちの家族に迷惑がかかるような遊び方は慎んでほしいと思います。**「地域への思いやり」**についてですが、子どもたちも地域の一員であり、地域を大切にする一人であるべきです。たくさんの方々が共に生活する地域の中で、みんなが気持ちよく生活するために一人一人ができる行動を考えていく必要があります。地域の人・もの・出来事に思いやりの気持ちを持ち、優しい行動ができる夏休みにしてほしいと思います。

前期後半は、8月27日(水)から始まります。ケガや病気には十分注意しながら有意義な夏休みを過ごし、前期後半開始日には、いつものように元気なあいさつを交わし合えることを願っています。



## 卒業生が職場体験に来てくれました



7月9日(水)から7月11日(金)の3日間、近隣の中学校の2年生3人が本校で職場体験を行いました。3人とも本校の卒業生でしたが、小学校時代に関わりのあった先生方の学級に分かれ、教師の仕事を体験しました。3人から先生の仕事の感想を聞くと、「先生たちが、こんなに大変な仕事をしていたとは、小学校の時には気付かなかった。」と話してくれました。また、それぞれが人に何かを教える仕事に興味があることを教えてくれました。自分たちの夢の実現に向けて学ぼうとしている姿に感銘を受けましたし、これからも応援したいと思います。

**【お知らせ】** 明日から39日間の長い夏休みが始まります。休日や学校が閉庁しているときで、緊急な連絡が必要な場合(大きな事故やケガなど)は、各学年の「夏休みのくらし」に記載しています菊陽町公用携帯番号に連絡をお願いします。その情報が学校関係者に伝わるようになっています。